



和顔施



高峰小学校長 井上真彰

7号で触れた「学びに向かう力」についての話です。

親が子どもの質問に対して自分で考えられるように促している家庭の子どもは、物事をあきらめずに挑戦できたり、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりすることができるようになる割合が高い傾向があります。この「子どもが自分で考えられるように促す」とは、親が子どもから言葉を引き出そうと強いることではありません。聞き手として子どもの言葉に耳を傾けて、言わんとすることを膨らませたり言葉を補ったりすることで、親に自分の話を受け止めてもらえたと感じさせることにより、子どもが自分の考えをより詳しく深める意欲を持てるようにすることです。

学校ではまじめで素直な子どもが増えた一方、困難にぶつかるとすぐにあきらめてしまう子どもが多くなりました。「まじめで素直」という印象は決して良い意味ばかりではなく、指示されたことには取り組むがそれ以上のことはしない、という負の意味も含んでいます。効率重視のこの時代「無理に挑戦して失敗したくない」「自分から進んで何かをしなくても困らない」と考える子どもが増えているのかもしれませんが、また、子ども同士の表立った対立やけんかが少なくなりました。けんかが少ないのは良いことですが、周りとお話を合わせて本音を語らず、お互いの理解を深めるようなコミュニケーションを回避している子どもが増えているのだとしたら心配です。

では、子どもたちに物事に粘り強く挑戦する力、人とのかかわる力といった「学びに向かう力」を育むために、冒頭の親子の関わり以外で周りの大人ができることは何でしょう。それは、「やったらできた」という経験をたくさん積ませることに尽きます。難しい課題への挑戦を躊躇したり自分から進んで行動を起こそうとしたがらなかったりする子どもには、大人が意図的に少しだけ高い目標を与えてそれ乗り越えさせる機会をできるだけ多く設けることです。これは学習に限ったことではなく、家事や生活全般、習い事など色々な場面で設けることが肝要です。勿論、結果的に乗り越えられなかったとしても構いません。失敗も今の子どもたちには貴重な経験です。うまくいったとしてもいかなかった、経験の積み重ねが少しずつ子どもの自己肯定感を高め、自分の人生を彩り豊かなものにしていくのです。

今号は3年生と4年生の合同遠足の特集です。

高峰小学校は地域と共にある学校です。これからもご支援とご協力をお願いします。

ようやく晴れた遠足

4年1組担任 田村来央希

3・4年生一緒に箱根方面へ遠足に出かけました。子どもたちは今回の遠足で素晴らしい初めての経験をしました。それは、「一日中気持ちの良い天気」での遠足を過ごせたことです。気持ちも晴れ晴れとし、とても嬉しいスタートになりました。

初めに博物館へ向かいました。博物館ではグループで仲良く行動し、はぐれたり、喧嘩したりすることなく、時間を守った行動ができました。博物館には高峰小学校の学区内にある小沢地区で採れた化石が展示されていて、グループで探したり、はく製の生き物を見学したりしました。「すごーい」「大きい!」「怖〜」など、様々な反応を見せていました。

次に箱根恩賜公園へ行きました。きれいな芦ノ湖を眺めることのできる場で昼食をとりました。自慢のお弁当を見せ合い満足そうに食べる姿が可愛らしかったです。

最後に遠足の一番の楽しみであった海賊船です。沖から豪華な海賊船が近づいてくると、子どもたちの目はきらきらと輝き始めました。中に入り、早速船のデッキへ上がると、湖の景色と心地よい風に感動し、笑顔が溢れていました。



楽しい時間はあっという間に終わり、怪我なく無事に帰ってきました。マナーを守ったり、すれ違う方々と挨拶を交わしたりし、子どもらしく立派な姿が見られました。今後の学校生活でも友達や地域の方々とのつながりを意識して過ごしていけたらと思います。



驚きいっぱい箱根遠足

3年1組担任

片貝麻矢

「おれたちの遠足、ずっと雨なんだよな」と呟いた前日。しかし当日、見事とても良い天気。少し寒いかなあとお心配しましたが、子どもたちは朝から元気いっぱい。「はい、元気です」の健康観察の声もいつもより一際大きく感じました。

かくれんぼする富士山を見つけながら、バスに揺られて1時間。最初に行ったのは「生命の星・地球博物館」です。「首が長い恐竜に驚いた」「色々な宝石があってびっくり!」「レッサーパンダのはく製がかわいかった。」初めて見る本当の大きさのはく製や標本に大興奮な子どもたちでした。続いて「箱根恩賜公園」に到着。「え〜階段!?!」「歩くの!?!」と少し不満気な声。ところが数分後には「元気っ♪、元気っ♪」と歌うような掛け声とともに、軽快な足取りでゆるやかな坂を上っていました。そう、お楽しみのお弁当（とおやつ）の時間です。「先生見て、オムライス!」「わあ、〇〇のキャラクターだ!」きらきら笑顔で美味しいお弁当を頬張る子どもたち。「昨日友達と買いに行ったんだ!」というおやつも食べて、また更に元気いっぱいになりました。

少し歩いて公園を出ると、いよいよお待ちかね、海賊船です。赤と黄色の豪華な船が近づいてくると、うずうずそわそわしだす子どもたち。「海賊王に俺はなる!」3階のデッキで冷たく気持ちの良い風に吹かれながら、少し小さい声でそう言ってみたり、海賊船の中の謎解きを友達と楽しんだり、思い思いに30分の船の旅を楽しみました。保護者の皆様、お弁当など様々なご準備、ありがとうございました。



懐かしの学び舎

神奈川県内に現存する最古の木造校舎が半原小学校敷地内にあることをご存知でしょうか。9月27日に3年生が訪問して、学芸員さんが講師を務める授業を受けてきました。この校舎は関東大震災の3年後となる大正15年に建築されました。設計には当時の教訓が生かされており、緊急時には教室前の廊下に沿った長い土間にある大きな扉から一斉に外に避難できるようになっている珍しい構造をしています。交換手に話したい相手を伝えて繋いでもらう電話機や熱した木炭を入れて使うアイロンなどの説明に子どもたちはとても興味深そうに聴き入っていました。



卵巣屋

本校の学区内に三増地区があります。そこにある神奈川中央養鶏農業協同組合は神奈川県内において有数の規模を誇る養鶏場です。生活科の授業に地域探検という単元があり、2年生が直売所である卵巣屋さんを10月4日に徒歩で訪問してきました。事前に各家庭にお願いして子どもたちはお金を持参しており、たまごソフトを自分で支払いを済ませて受け取ると、休憩所に行ってみんなで座って食べました。卵巣屋さんのご厚意で全員にゆで卵を頂き、これもおいしく食べて元気いっぱいになって帰ってきました。お世話になった皆さまありがとうございました。



お知らせ

- 明日、14日（土）に本校の校庭で高峰保育園の運動会が行われます。普段より車の出入りが増えることが予想されますので、学童保育等で来校される場合はご注意ください。

随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。



ホームページ



ブログ